

## みずほCustomer Desk Report 2018/02/22 号(As of 2018/02/21)

国際為替部 為替営業第二チーム

## 【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値 GBP/USD	107.53 AUD/USD
TKY 9:00AM	107.40	1.2335	132.47	1.3999	0.7881
SYD-NY High	107.90	1.2360	133.05	1.4008	0.7905
SYD-NY Low	107.28	1.2281	132.27	1.3905	0.7803
NY 5:00 PM	107.77	1.2283	132.41	1.3915	0.7806
NY DOW	24,797.78	▲ 166.97	日本2年債	-0.1500	0.00bp
NASDAQ	7,218.23	▲ 16.08	日本10年債	0.0500	▲ 1.00bp
S&P	2,701.33	▲ 14.93	米国2年債	2.2681	4.73bp
日経平均	21,970.81	45.71	米国5年債	2.6850	3.95bp
TOPIX	1,761.61	▲ 0.84	米国10年債	2.9510	6.05bp
シゴ日経先物	21,860	▲ 10.00	独10年債	0.7205	▲ 1.30bp
ロンドンFT	7,281.57	34.80	英10年債	1.5535	▲ 3.15bp
DAX	12,470.49	▲ 17.41	豪10年債	2.8595	▲ 2.40bp
ハンセン指数	31,431.89	558.26	USDJPY 1M Vol	9.15	▲ 0.03%
上海総合	-	-	USDJPY 3M Vol	8.90	▲ 0.15%
NY金	1,332.10	0.90	USDJPY 6M Vol	8.88	▲ 0.08%
WTI	61.34	▲ 0.45	USDJPY 1M 25RR	-1.28	Yen Call Over
CRB指数	194.17	0.50	EURJPY 3M Vol	9.03	▲ 0.25%
ドルインデックス	90.12	0.40	EURJPY 6M Vol	9.11	▲ 0.09%

## 【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
2月21日	17:30	独 マークイットPMI(製造業/サービス業/コンポジット)	2月 60.3/55.3/57.4	60.5/57.0/58.5
	18:00	欧 マークイットPMI(製造業/サービス業/コンポジット)	2月 58.5/56.7/57.5	59.2/57.6/58.4
	18:30	英 ILO失業率(3ヶ月)	12月 4.4%	4.3%
	23:00	米 ハーカー・フィラデルフィア連銀総裁 講演	「今年は2回の利上げが適切になる」	
2月22日	23:45	米 マークイットPMI(製造業/サービス業/コンポジット)	2月 55.9/55.9/55.9	55.5/53.7/-
	0:00	米 中古住宅販売件数	1月 5.38M	5.60M
	4:00	米 FOMC議事要旨	-	-

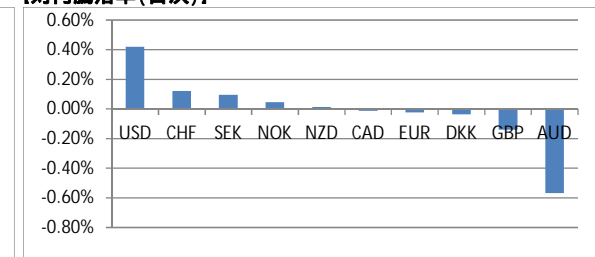
## 【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
2月22日	18:00	独 IFO指数(企業景況感/期待/現況)	2月 117.0/107.9/127.0	117.6/108.4/127.7
	18:30	英 GDP(前期比/前年比)	4Q 0.5%/1.5%	0.5%/1.5%
	22:30	米 新規失業保険申請件数	- 230K	230K
2月23日	0:00	米 ダドリー・NY連銀総裁 講演	-	-
	2:10	米 ボスティック・アトランタ連銀総裁 講演	-	-
	5:30	米 カプラン・ダラス連銀総裁 講演	-	-

## 【ドル円相場】



## 【対円騰落率(日次)】



## 【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	107.30-108.30	1.2230-1.2330	131.70-133.70

## 【マーケットインプレッション】

昨日海外時間のドル円は上昇した。FOMC議事要旨の発表直後は107円台前半まで下落したものの、その後は経済成長の改善で追加利上げの可能性は高まっているとの思惑が広がり、米長期金利が約4年振りの高水準に上昇すると、ドル円は107円後半に上昇。本日のドル円は底堅く推移すると予想。海外市場でのドル買いの流れを引き継ぎ、株価や米長期金利の動向を睨みながら、本日のドル円は107円台後半で底堅い動きになりそうだ。

東京	東京時間のドル円は107.40レベルでオープン。今週に入り続いているドル買いの流れが継続し107円台後半まで上昇。日経平均株価が堅調推移となったこともドル円のサポート材料となり一時107.90まで上昇した。しかし、節目となる108.00がレジスタンスとして意識されたことや、日経平均株価が上昇幅を削る展開となったこと等からその後は伸び悩み、107円台後半でのみ合い推移となった。結局、107.74レベルで海外へ渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、107.74レベルでオープン。FOMC議事要旨の公表を控えて、ポジション調整的に107.33まで売られた後、やや水準を戻し107.54レベルでNYに渡った。ユーロドルは1.2328レベルでオープン。ユーロ圏2月総合PMI(速報値)が57.5に低下し、市場予想(58.4)を下回ったことや、伊経済相が、「ワイトマン独連銀総裁が来年秋に任期満了を迎えるドラギ ECB総裁の後任に就任することを当然視すべきでない」と述べたことで、ECBの効力化を期待する向きが弱まり、1.2300まで下落。1.2303レベルでNYに渡った。(ロンドン17:00 00531 444 179 山本)
ニューヨーク	ドル買いが継続したことから、海外市場で107.90まで上昇したドル円は、2/14の高値107.91が意識され反落し、107.54レベルでNYオープン。朝方はハーカー・フィラデルフィア連銀総裁(投票権無し)が「今年は2回の利上げを見ている」と引き続き慎重な姿勢を見せたこともあり、107.34まで下落。その後は米1月中旬住宅販売件数が市場予想を下回ったもののドル円の反応は限定的となり、特段のニュースが見当たらない中、FOMC議事要旨発表を控え再びドル買いが強まり、107.72まで戻す。午後に入り公表されたFOMC議事要旨では、「引き続き緩やかな利上げが適切」「数人の参加者、賃金上昇の明確なサインが見られない」と指摘等が明らかになった。月初に発表された米1月雇用統計では賃金が予想を上回る伸びをみせ、これまでよりも早いスピードでの利上げ期待が強まっていたが、その期待感の後退が意識されてかドル売りが強まり107.30まで急落する。しかし景気判断が引き上げられたこともあり、米金利が上昇、300ドル高まで上昇していたダウがマイナス圏へ反落すると、ドル買いが再び持ち込まれ、ドル円は107.90まで戻す。終盤は調整から反落し、107.77レベルでクロスした。一方、ユーロドルは1.2303レベルでNYオープン。朝方はハーカー・フィラデルフィア連銀総裁の発言が伝わったことなどからドル売りが強まり、1.2336まで戻すが、ドルが買い戻される展開に1.2304まで反落する。午後に入り、FOMC議事要旨を受け一旦1.2360まで急伸する局面もあったものの、ドルが再び買い戻される展開に1.2300を下抜け、1.2281まで下落した後、1.2283レベルでクロスした。(NY井上)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当:伊藤・森谷